



号者局 53 行 第 53 号 平成13年7月20日 所 武 一 所 木 武 一 所 用 木 武 一 所 TEL. 3700-5657

少年野球の指導



戦後間もなく育った私どもの少年時代は、日本中の男の子が野球に夢中になった時期でした。物の無い時代、手作りのボールやバットで楽しんでいました。今の子ども達はふんだんにボールを使い、金属バットでマシンからのボールを打っています。

選手は一生から預かっています。特に小一、小四の子は、成長の中で大事な時期です。特に目を向けて指導しています。指導内容は、動作の遅い反応の鈍い子どもの中には、地味な指導法で、性急な結果を求めず、ゆっくりと時間をかけ、段階を踏んで指導してゆくのが最良だと思います。

子どもから見れば「指示」や、「命令」は多岐多くなり、着んでいる能力を引き出す「暗示」の方法で、やる気を起す思いやりを持って教える、指導者全員で続けていきたいと思えます。

用賀アスレチック

街角のガーデニング

私の美容室は、旧砲台跡の跡地のすぐ前です。お店の前の遊歩道は、ちやうどプラットホームがあらたに分だけなくなっています。このスペースを利用して、花壇を作り、薔薇の花を中心に四季の草花を咲かせて街の人たちに楽しんで頂いております。

世田谷区から木製のベンチも二台設置していただき、今では待ち合わせや憩いの場として、素晴らしいことになりました。誰でもできるボランティアとして、身近なガーデニングで街を花いっぱいにしませんか。

手をつなごう 身近なボランティア

私が行なってきたボランティアは青少年の健全育成に係わる事が多い。小学校での校庭開放時に原作りの指導等を行ったり、中学校において、昨年度からのステップ事業や、今年初めて行なった自転車交通安全委員方大会等への協力やお手伝いなど。

私自身この地域に生まれ育っていますので、身近なこの地域において、少しでも役にたてればと、今後とも活動を続けて行きたいと思っています。ボランティアを通して様々な方との交流や色々な体験は、とても貴重なものとなっています。

地域で行なう 防災訓練に参加しよう

現在玉川地域の消防体制は、玉川本署と三ヶ所の出張所にポンプ車八台、予備二台、救急車三台、予備一台、梯子車一台、資機材搬送車一台の装備に、二百二十名の署員が日夜交代制で待機、日ごろは火災、救急に十分対応出来まます。が、一旦大地震が発生し同時に多発的災害が起きた時は重点的な現場への出動、そして断水停電も重なれば、我が身や家族の生命財産は自分達で守るしかありません。

地域で行なう防災訓練に参加して初期消火、応急救護の方法を習得し、日ごろから災害に備えようではありませんか。防災訓練は、

心の架け橋

ボランティアというものは、一人で出来ないものでは決してない。もちろん個人でボランティアをされている人もたくさんいるだろう。

しかし、ボランティアを単面で行なうと、また違った良さがある。僕は昨年の秋、多摩川の清掃を行なうというボランティアに参加したのだが、清掃終了後に知らない人に話しかけられ自然と会話が始まった。まさに熱帯ボランティアという共同作業が人と人との心に架け橋を作ったようなものだった。ボランティアにまだ参加したいと思う体勢だった。

あはだら終 ものがたり 鈴木武一

へある江尻子がいました 生者必滅 会者定聚 ナーンて言葉が通じない 生野純平サア大変ッ だから此の世はおもしろい 弱肉強食あたり前 虫けら佃煮アラ旨い コザカナ蒸詰めり前うまい 骨ごとバリバリ噛みしめりゃ 100歳超すよとある相な わたし、摩目だとゆう人は 50歳代アノ世ゆき 人生健康でまぬいと 可哀想だが、ねえあなた いろいろ恐怖に悩まされ 自殺亡者も カズ、知れず トビ込み名所は中央線 三面記車のご管理 マラに遺家族かなしませ 告別式のあいさつも 類にたつたる淡こえ 此んな情景目にしたら 分って呉れたと思つたら 今日も眠つてた死亡欄 安全 平和と思つても 奇人 変人 ウツ患者の(お笑い) 狂人かしらと思う人 足りぬ病院 精神科 オウムもアレと名を変えた アタマ良い人狙われて マアラにお金しぼられる 出さなきアアだ地下サリン 困りものだよ邪教教 何時まで続く裁判所 とは言うものの皆の衆 憲法さんに守られて 言論 宗教みな自由 而も税金かからない 誰でも何処でもやれるんだ 其りや恐しい怖いねえ アアやんやんちが驚いた ソレツ駄目下ソイおしじだ...

ひろば ご希望の方は 用賀出張所においてありますのでどうぞ

Table with 10 empty cells for subscription information.

郷土紹介

幻の谷沢川用水計画

今を遡ること百三十有余年、慶応三年（一八六七）十一月、谷沢川の上流に新たな農灌用水を引き込む願書が代官所に提出された。当初、用賀村と野良田村（現在の中野一帯）の名主を中心に村役人が相談してその計画は進められた。谷沢川は下流の上野毛等々力辺りに行くとき水量も多くなるが、上流部の野良田や用賀の村々を流れる時は水量は少なく、干魃の年には水の確保が大変苦難をした。そこで、両村は天水池等を造成し農灌用水に利用していたが、この根本的解決策として、新用水計画

が考えられた。これは五川上水を無礼村で分水、高山村、箱谷村、廻り沢村、世田谷村字横根を通水させ、用賀村の北部で谷沢川に水を引き込むと云う遠大な計画であった。そして、村人は分水の権利取得費用や水路の測量工事費の捻出、通過する村々への交渉等々を相談する為、新用水が完成すれば、米の生産量は安定、着にも充ちな年貢を納め、村人達は木長く豊かな生活を送れるとの夢の「公共工事」であったが、時あたかも明治維新、この計画は江戸から東京へと世相が大きく変わる中で、日の目を見なかった。（飯田）

母なる故郷八丈島

私（賢子） 奥山英明
私の故郷は、東京から真南へ約三百キロ、鳥も通わぬと明われた八丈島です。伊豆七島の最南端に位置し、群島の太平洋に浮かぶ文字通り絶海の孤島です。子供の頃、大人達から「南へどんどん行く」とサイパンを通ってオーストラリアに昔々、東へどんどん行くとハワイを通ってアメリカに昔々という子供には理解不可能な話を聞かされた。したが、海が空に溶け込む風景の中に居ると、妙に説得力を感じたものです。沖で見た時や鬼島と見たが、来てみりゃ八丈は情島、八丈の民謡「シヨメ節」

わが故郷

の一端です。八丈島は流人の島として知られ、歴々派で歌れた大隈守の大將、宇喜多秀家卿を第一号に、約二千人が流されました。島民は流人を温かく迎えたので、この節が生まれたといわれます。八丈島は黒潮海流の真真中にあり、亜熱帯気候の南国情緒豊かな島で、四季、花と緑に恵まれています。星空探検、バードウォッチング、海釣り、波のり、ダイビング、植物採集等々、豊かな大自然に包みこまれて少年時代を過ごした母なる故郷は、今も昔と同じように、群島の太平洋に浮かんでいるのです。

皆様ととも



用賀高等学校教員 菊地圭洋 先生のお話から
私たちの駒沢大学高等学校は、馬車公苑の覆馬場と陸上自衛隊の関東衛隊、海上自衛隊東京音楽隊に隣接し、少し目立たない所にあります。約千五百名の生徒が通学しています。生徒の男女比は概ね二対一で、男子が女子の二倍です。わが校の誇りの一つとしては、部活動の充実があげられます。運動では、特に野球、陸上、体操、駅式テニス、男子のバレーボール部などは関東大会やインターハイ、それに国体でも活躍していますし、文化活動では、吹奏楽部が全国大会の常連になっています。とりわけ、学校の狭い敷地

充実の部活

という条件の中で、生徒たちはよく頑張っていると思えます。また、ボランティア活動の方では、使用済み品のリサイクルカードや切手、書き損じの葉書などを、社会福祉団体へ贈るといふことを、地味ながら全校生徒に呼びかけ、続けています。地域との関係では、デイホームでの福祉体験学習を行わせていただいているほか、隣接の身体障害者の方々が通われている用賀技能開発学院の納涼祭の折には、毎年お手伝いをさせていただいております。最後に、陸上自衛隊のご提供により、昨年の夏休み、その豊面に美術部がペイントをさせていただきます。（取材 御頭）

スポーツ

- 今年の夏の行事
- 1 盆踊り
 - 用賀一条通り
 - 7月21日(土) 22日(日)
 - 五川三丁目高聖下
 - 7月27日(金) 28日(土)
 - 瀬田小学校
 - 8月4日(土) 5日(日)
 - 用賀小学校
 - 8月24日(金) 25日(土)
 - 2 子ども映画会
 - 上用賀アートホール
 - 7月24日(火)
 - 瀬田小学校
 - 8月7日(火)
 - 京西小学校
 - 8月23日(木)
 - 3 用賀納涼の夕べ
 - 8月20日(月)
 - 4 たまがわ花火大会
 - 8月18日(土)
 - 5 せたがや区民まつり
 - 8月4日(土) 5日(日)



いよいよ夏本番。ふるさと八丈島を語る奥山さんの記事は潮騒が聞えるよう。新しい世紀のスタートはボランティア国際年……。そこで本号は身近なボランティア活動をテーマ、それぞれの立場で、その活動に取組んでおられる皆様に登場していただきました。安全で美しい町づくり、青少年の健全育成、スポーツ指導に活躍されている方々、そして、中学生浅岡君の体験記、様々です。ボランティアの原点は私たち一人一人が他人まかせでなく自分の手で共同社会を支えて行くところにあるのではないのでしょうか。（飯田）